

鵬翔21年ぶりV

新体操

【男子】団体①小林秀峰（矢野、坊野、久保宮、沢田、北ノ園）13・150点

【女子】団体①鵬翔（徳永、秋吉、大畑、轟彰、福田）16・850点
 （鵬翔は21年ぶり4度目の優勝）



【新体操女子団体】よどみない演技を披露する鵬翔（斉藤僚一撮影）

部に昇格し結果

○：新体操女子団体に昇格し、部員は8人に。チームのために何ができるかを考え、常に行動する」を信条としているという。演技を終えたチームリーダー徳永彩花は、「ボールの落下はなかったけど、動きに精彩を欠いた。皆で話し合い、質の高い演技を目指す」と高みを見据えた。（中園文雄）

宮崎日日新聞

THE MIYANICHI

2025年(令和7年) 5月26日(月)



個人無差別級、80キロ未満級を制した河野暁志（鵬翔）ひなた武道館相撲場

第52回 県高校 総体

第 5 日

河野（鵬翔）個人2冠

相撲

△団体①鵬翔（ひなた武道館相撲場）

（鵬翔は2年連続2度目の優勝）
 △個人80キロ未満①河野暁志（鵬翔）②本村（同）
 △同100キロ未満①永野航（高千穂）②河野春（鵬翔）③岩崎（同）
 △同100キロ以上①金丸魁成（鵬翔）②佐藤（同）
 △同無差別①河野暁志（鵬翔）②永野（高千穂）③本村（鵬翔）

真つ向勝負貫く

○：無差別級、80キロ未満級の個人2冠に輝いた河野暁志（鵬翔）。真つ向勝負を貫いた3年生は「焦らず、思う様に体が動いてくれた」と納得の表情。「体と体をぶつけ合う、かつこよさ」に憧れ、高校から本格的に始めた。だが3月の全国選抜は「立ち合いで当てるのか、変化するかを迷って負けた」（道久聡）